

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	下呂市立萩原小学校		
実 施 期 間	平成25年11月13日(水)		
実 施 概 要	<特別学校公開日(家族参観日)> <input type="radio"/> 全学級で授業公開 <input type="radio"/> PTA主催で親子コンサートを開催		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約230人	計 280人
	地域関係者	約50人	
実 施 状 況	<input type="radio"/> 保護者にはPTA総会のおりに紹介し、数週間前になったところで家族宛に案内文書を配付すると共に、学校メールで案内メッセージを配信した。 <input type="radio"/> 地域の方へは学校だよりで紹介をした。 <input type="radio"/> 当日の日程 13:05～13:50 全学級授業公開 14:10～15:20 PTA親子コンサート(星雲会館天慶の間) <コンサートの内容:講話と歌> ・ 演題「命はそんなにやわじゃない」講師:杉浦貴之氏 ・ 28歳のとき癌で余命半年と宣告された杉浦氏が両親と本人の強い意志で14年後も生きて命の尊さや生きていることの価値を歌と講話で感動的に伝えられた。生まれたときは誰もが愛されて生まれてきたことや大きくなってつらいことがあっても、生きていることは当たり前ではなく、生きていることに価値があるから、ありのままの自分でいいことを講師のエピソードを交えて1～6年に分かりやすく丁寧に語ってくださった。いいことにも悪いことにもすべてに意味があり、夢は強く願って行動を起こせば必ず叶うと話された。ホノルルマラソンの体験を通して、子どもたちにも大人にも「やればできる」という希望を与えてくださった。		
成 果 及 び 課 題	<input checked="" type="radio"/> たくさんの父母・祖父母が来校し、参観をされた。昨年に引き続き実施した親子コンサートは大好評だった。親子・家族が一緒になって命の尊さや人と人との絆について、心にしみわたる歌声で感動しながら学ぶことができた。 <input checked="" type="radio"/> 6年生の保護者は、来年卒業してもこの公開日に参加したいと言われた。今後も地域住民を巻き込む、地域ぐるみの子供育てを学校が中心になって推進していきたい。 <児童の感想> ・私がかもしも癌になったらもうだめだと思っていたので、すごいなと感じました。私なら、あきらめると思います。だからこの歌を聴いてこれからは、ちゃんとやろうと思いました。 ・親子コンサートで杉浦さんは、命のことや赤ちゃんのことをいっぱい教えてくださいました。歌やビデオで教えてもらいました。「大丈夫」の歌が一番好きでした。 <保護者の感想> ・算数の授業では計算の速さに驚きました。長い時間真剣に授業を受けている姿に感心しました。コンサートでは命の大切さを改めて実感しました。子どもたちの生まれた瞬間のことを思い出し反省しました。ここ数年何人もの大切な人をなくし、大切な友さえ余命宣告を受けている現実の中で言葉にできない気持ちで見っていました。子どもたちをついつい叱ったり、人と比較して焦ったりしている自分を恥ずかしく思いました。良い時間をくださり感謝しています。		

